

## ガスミュージアム開館50周年記念展示

### ガスとくらしの一世紀

～競争と変革の軌跡～

東京ガスは本日11月2日（木）より、新宿パークタワー1階アトリウムにてガスミュージアム開館50周年展示、ガスとくらしの一世紀～競争と変革の軌跡～を公開しました。

ガスミュージアムの収蔵品がガスミュージアム以外でまとめて展示されるのは開館50年にして初めてです。

今回の50周年記念展示ではガスミュージアムに常設展示されているガス器具をはじめ、ガス事業が始まった明治時代の様子を描いた錦絵やその時々暮らしの様子を感じられるポスターなど約30点を展示し、現在ガスミュージアムでも常設展示していない本イベント限定の収蔵品も公開しています。この機会に是非一度ご覧ください。

#### 展示の様子

工業デザイナー柳宗理氏がデザインしたストーブ。銀色の反射板と本体がカーブを描いて一体となった卵形をしたデザインをしており、非常に斬新な形をしている。



1956年 TG25号ストーブ

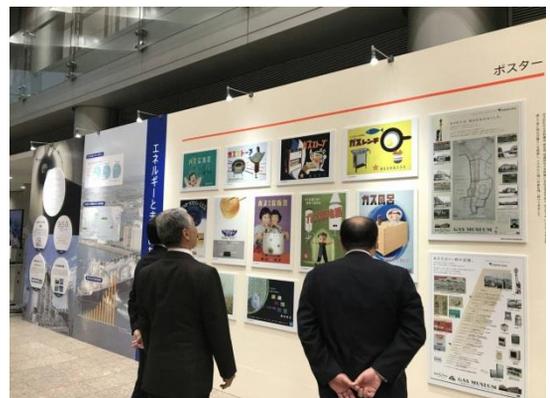
木製の風呂桶に銅製の早沸（はやわき）釜を組み込んだ製品。水気に強く加工もしやすい榎（さわら）の木で作られている。



昭和戦後 内釜付き角丸木風呂



イギリスのロンドンで、  
街路灯として使われたガス灯の頭部





## 開催概要

- タイトル ガスとくらしの一世紀～競争と変革の軌跡～
- 開催日時 2017年11月2日（木）～11月5日（日） 10:00～18:00
- 開催場所 新宿パークタワー 1階アトリウム（東京都新宿区西新宿3-7-1）
- アクセス ホームページをご覧ください。  
<https://www.shinjukuparktower.com/access/>
- 入場料 無料

## ガスミュージアムとは

2017年4月29日に開館50周年を迎えた、暮らしとガスのかかわり、日本のガス事業の歴史を紹介する博物館です。貴重な資料を展示・収蔵するために1967年に東京都小平市に開館、これまで63万人を超える皆さまにご来館いただいています。

ガスミュージアムでは日本のガス事業がガス灯による「明かり」を提供することから始まり、ガスかまどやガスレンジなどの厨房用途、ガスストーブなどの暖房用途、給湯器や風呂釜などの給湯用途といった「熱源」としての利用へと進化した軌跡を分かりやすく展示しており、それまでの暮らしをより豊かにするための器具を開発し続け、使い方・暮らし方の提案とともに生活価値を高めるイノベーションを続けてきた歴史をご覧くださいことができます。



- 所在地 東京都小平市大沼町4-31-25 <http://www.gasmuseum.jp/>
- 入館料 無料
- 駐車場 30台（無料）
- 休館日 月曜日/年末年始 ※月曜日が祝日及び振替休日の場合は翌日休館